

## 第 1 回海田東小学校校舎建替検討部会 議事要旨

日 時：令和 6 年 1 月 10 日（水） 15：30～17：00

場 所：海田町役場 3 階会議室

出席者：海田町教育委員会教育長，海田町教育委員会教育委員，海田東小学校区連合会長，  
畝自治会長，海田東小学校 P T A 会長，海田東小学校校長，海田東小学校教員（教  
務主任）

事務局：海田町教育委員会事務局職員

### 議事要旨

（以下 ○：委員の発言，●：事務局の発言）

#### 1 検討部会の設置について

- 海田東小学校本館改築基本構想の策定にあたり，町教育委員会学校教育課（校舎建替推進チーム）を事務局として，海田中学校区学校運営協議会内に海田東小学校校舎改築検討部会を設置し，協議等を進めながら策定していく。

#### 2 「海田東小学校本館改築基本構想骨子（案）」について

- 海田東小学校本館改築基本構想骨子（案）について説明する。

海田東小学校本館の概要として，昭和 39 年に建築され，その後昭和 42 年に増築されており，延床面積は 2,973 m<sup>2</sup>となっている。

令和 4 年度に実施した本館老朽化詳細調査において，昭和 39 年建築部分，昭和 42 年建築部分ともに耐力度点数が 4,500 点以下であったことを受け，将来にわたって長く使用を考える場合は，長寿命化改良工事よりも改築のほうがより効率的であると結論付けた。

その主な理由としては，躯体等の状況について，経年劣化が著しく，特にコンクリートにおいては，鉄筋錆に伴う剥落が各所で確認され，危険な状態と判断された。このような状況から，今後，長寿命化改良工事を行ったとしても，コンクリートの中性化やコンクリートのひび割れ等による鉄筋錆とコンクリートの剥離等の劣化は完全に抑制できるとは考えられず，30 年後に躯体そのものの健全性は大幅に低減されているためである。

基本構想策定の前提条件及び海田小学校周辺の町づくりの方向性については，上位計画である「第 5 次海田町総合計画」，「海田町都市計画マスタープラン」等を参考として作成する。

海田東小学校の沿革・概要及び海田東小学校経営計画については，「海田東小学校学校要覧」，「海田町学校施設長寿命化計画」等を参考として作成する。

児童数・学級数の将来見通しについては，令和 7 年度をピークに減少するものと見込まれ，この見通しを基に学級数を推計すると，今後は 22 学級が続く見通しとなっており，横ばいの状況となるため，この学校規模を想定することとなる。

学校職員、保護者からの聞き取りにより校舎改築に係る要望については、関係者の皆様からのご意見を聴取、アンケート調査を実施し、その結果を記載する。

基本理念と整備コンセプトについては、国が示す教育振興計画、第5次海田町総合計画等を踏まえ、改築に係る基本理念・整備コンセプトを定める。

改築の整備方針については、校舎改築に係る要望及び改築に係る基本理念・整備コンセプト等を踏まえ、整備方針を定める。

改築に係るスケジュールについては、基本構想の策定を令和6年9月までとし、令和11年度の供用開始をめざし、進める予定である。

- 建替えするのは本館だけか。
- 今後、基本構想、基本計画・基本設計の中で新館・体育館とのバランスを見て配置計画については検討していきますが、現時点では少なくとも本館は建替えする方針である。
- 老朽化詳細調査で危険度が高いとされたが、令和11年度供用開始で間に合うのか。
- 建物の耐震補強工事は平成22年度に行っており、地震により建物が崩壊する可能性は低い。外壁等の劣化部についても、点検・修繕を行っている。これからの5年間についても、適宜修繕し、供用開始まで校舎を持たせる。
- 児童数の今後の見込みはどうか。
- 海田町の児童推計値によると、海田東小学校においては、令和7年度がピークで564人を見込んでいる。町全体で見ても令和12年度がピークで、そこから減っていく状況が推測されている。しかし、40人学級が35人学級になるなど学級編成が変わってきているため、学級数は変化しないという想定である。
- 普通教室の広さは決まりがあるか。
- 令和4年6月に改訂された「学校施設整備指針」の中では、「情報端末を活用した学習の円滑な実施も考慮し、多様な学習形態に対応する机、家具などの配置が可能な面積」とされている。児童の生活の場としてふさわしいだけでなく、児童にとって安心して落ち着くことができる場として計画していく。現在の1教室当たりの面積は64㎡程度である。
- 仮設校舎は建てる想定か。
- 基本計画・基本設計で校舎配置案を複数パターン作成する。その中には現地建替えて仮設校舎を使用する案も想定されるため、その中で検討していく。
- 整備期間のグラウンドの使用はどうか。
- 運動会の実施等についても検討が必要と考えている。他の学校のグラウンドを利活用するなど、代替案を提示することを想定している。
- 学年単位で集まれる中規模な教室は作る予定か。
- 校舎と教育課程に関連性を持たせ、オープンスペースや可動間仕切りなど必要に応じて広い空間を生み出せるような工夫についても、今後検討していく。
- 新館との遠さを感じる。一体感を出してほしい。
- 保護者等の来客用駐車場は十分に確保できるか。
- 現状に課題があることは把握している。地域の方にとっても利用しやすい学校となる

よう検討していく。

- 遊具は今の場所から動くか。
- 配置計画によっては、場所の移動もありえると想定している。
- 児童の更衣室は整備されるか。
- 今求められる状況を整理し、反映していきたいと考えている。
- 地域や学校が大切にしてきたものを新しい校舎へ繋げるような工夫の案はあるか。
- 地域の特色や海田東小学校らしさを整理するとともに、これからの海田東小学校の児童にどのような子どもに育ててほしいか、という視点も踏まえて今後検討していく。

### ③ 「アンケート調査（案）」について

- アンケート調査は、海田東小学校の保護者、教職員の校舎等に関する意見や考えを把握し、海田東小学校本館改築基本構想の策定のための参考資料とすることを目的する。  
調査期間は、令和6年2月22日（木）～29日（木）で行う。  
調査対象は、海田東小学校の保護者及び教職員とし、回答はオンラインで行う。  
調査項目は、①改築する際に最も大切にしたい項目について、②配慮してほしい教室等について、③自由記述とする。
- 『改築』という言葉がわかりにくいと思う。『建替』が良いのではないか。
- 『建替』に変更するよう検討する。
- 脱炭素社会の実現とは、具体的にはどのようなことか。
- ソーラーパネルや省エネ設備を想定している。
- 括弧書きで説明を加えるとわかりやすいと思う。
- 配慮してほしい教室等の選択肢の中に、『エレベーター』があるが整備されるか。
- バリアフリーの視点や避難所としての視点からも、エレベーターについては標準仕様と考えている。
- 教職員は異動もあるため、海田東小学校以外の小学校の教職員にもアンケートを実施してはどうか。
- そのようにする。
- 本日いただいた各委員からの御意見や検討事項についての整理を事務局において進め、骨子やアンケートに反映させていく。次回は令和6年5月に基本構想素案をお示しするのでその際にも忌憚のないご意見をお願いしたい。  
より良い学校施設整備のため、今後ともよろしくお願いしたい。